

## 「ごんぐら坂」のはなし

蜂屋町上蜂屋加瀬田に「ごんぐら坂」という名前の坂があります。

江戸時代、村の庄屋は年貢免状という、どれだけ年貢米を納めるかが書かれた命令書を代官所から受け取り、村役や主な百姓と相談し、各百姓に年貢米の割り当てを行ったといえます。

そして集まった年貢米は、郷蔵ごんぐらと呼ばれる倉庫へ運ばれました。

郷蔵とは、俵に詰めた年貢米をいったん収納する倉庫で、およそ各村に一つ、庄屋の家の近くに建てられました。

かつて加瀬田地区には上蜂屋村の庄屋があり、「ごんぐら坂」は、その庄屋をしていた家の近くにあります。このことから「ごんぐら坂」は、その先にあった郷蔵に続く坂道で、いつの頃からか、郷蔵がなまって「ごんぐら坂」と呼ぶようになったと考えられます。



◀「ごんぐら坂」(蜂屋町上蜂屋加瀬田市内)



▲「ごんぐら坂」から東を望む